

LYV20 (ネオブラック)  
 品番 LBG20 (ブラウン)  
 LGV20 (シルバークレーメタリック)




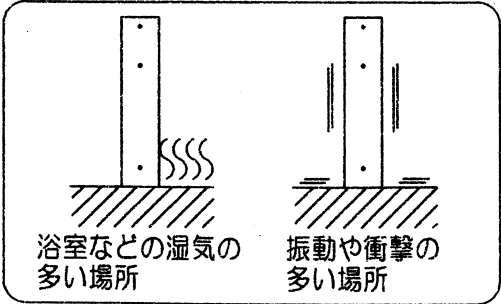
\* 灯具の取扱説明書は別途灯具に添付しております。必ず参照ください。

お客様へ 器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、工事店、電器店に依頼してください。



工事店様へ 施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。  
 この説明書は必ずお客様にお渡しください。

## 安全に関するご注意

### 警告





<div data-bbox="119 1332 199 1444"></div> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ポールを改造しないでください。 ポール折れのおそれがあります。</li> <li>■ポールを故意に揺すったり、上にのぼったりすることは絶対に行わないでください。 ポール折れのおそれがあります。</li> <li>■ポールに衝撃を加えたりすることは絶対に行わないでください。 ポール折れ・グローブ破損のおそれがあります。</li> <li>■万一、塗装がはがれたりポールの腐食が著しいなどの異常状態のまま使用しないでください。 ポール折れのおそれがあります。 すぐに工事店に修理を依頼してください。</li> </ul>	<div data-bbox="837 1075 917 1187"></div> <p>必ず守る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■器具の取付けは、説明書にしたがい確実に行ってください。 取付けに不備があると、ポール転倒のおそれがあります。</li> </ul> <div data-bbox="837 1400 917 1512"></div> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■こんな場所には取付けないでください。 下図のような取付けは、火災・感電落下によるけがのおそれがあります。</li> </ul> <div data-bbox="989 1411 1492 1713">  <p>浴室などの湿気の多い場所      振動や衝撃の多い場所</p> </div>
--	--

### 注意

<div data-bbox="119 1892 199 2004"></div> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ポール下部に川砂等を充填し、湿気がポール内に充填しないように施工してください。 (この際、水抜穴をふさがないでください。) 絶縁不良による感電および腐食によるポール折れの原因となります。</li> </ul>	<div data-bbox="837 1892 917 2004"></div> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ポールは水抜穴をふさがないように施工してください。 絶縁不良による感電および腐食によるポール折れの原因となります。</li> </ul>
---	---

## 取付場所について

- このポールはセンサ付灯具専用です。センサの検知性能をより確実にするため器具の取付位置は、灯具の施工説明書の「設定のしかた」(P4)の項目を、よくご覧のうえ、設定してください。
- 次のような場所には取付けないでください。  
このセンサは、周囲の明るさと温度変化を検知しますので、誤動作の原因となります。

 <p>禁止 大理石など反射の強い床面のある所</p>	 <p>禁止 風などでよくゆれる植物の近く</p>	 <p>禁止 エアコンの吹き出し口換気扇の近く</p>
 <p>禁止 交通量の多い道路に面した所</p>	 <p>禁止 前面に障害物のある所(透明なガラスも含む)</p>	 <p>禁止 昼間でも暗い所や夜間でも明るい所</p>

## 各部のなまえと取付け方 **△ 注意**

取付けの際は、安全のため電源を切ってください。  
通電状態で行うと感電の原因となります。

- 施工の不良はポール倒壊の原因となります。
- 砂地等の土質の軟らかい場所に設置する場合は、コンクリート等でポールの埋込部を固定してください。

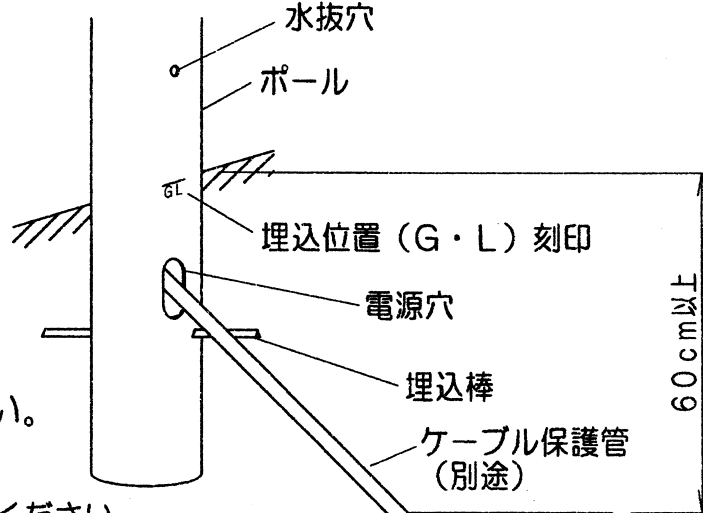
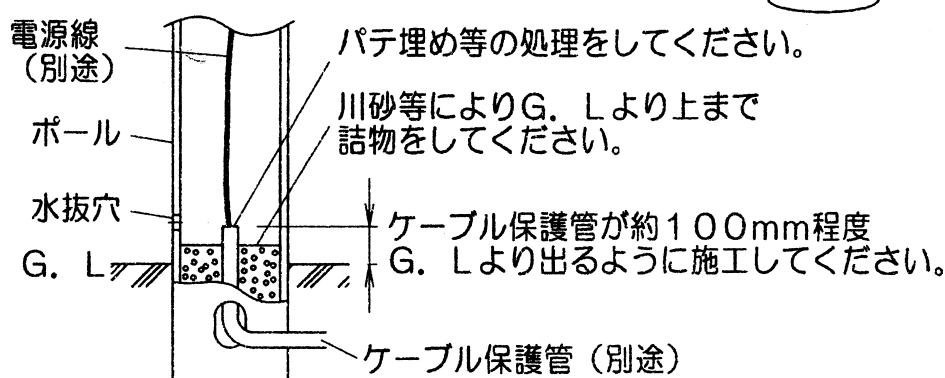
### 1 ケーブル保護管(別途)にパテ詰め等の処理を行なう。

電源ケーブル(別途)の長さはポールの長さよりも20cm程度長くしておいてください。

### 2 ポールを建てる。

ポールまでの配線工事は、電気設備技術基準、内線規定に従ってください。  
ポールに埋込棒をセットしてください。

### 3 ポール下部の湿気対策を行なってください。 (下図にその一例を示します。)



直接埋込式により、車両その他の重量物の圧力を受ける恐れのない場合の施工例です。

## お手入れについて

**△ 注意**

お手入れの際は、安全のため電源を切ってください。  
通電状態で行うと感電の原因となります。

- ・3～5年に1回はポールを点検し、不具合がありましたら交換してください。

(※1) 寿命末期には、ポール折れの原因となることがあります。

\*1 使用条件、使用環境で異なりますが、一般にポールの寿命の目安は10年です。

取説コード

UZ041